



ROTARY INTERNATIONAL

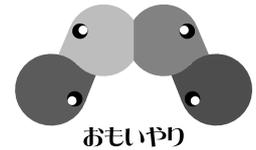
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

OFFICE OF GOVERNOR OF DISTRICT NO.2650



CHOHEI HASHIMOTO

ABS BUILDING
ANEKOJI KAWARAMACHI HIGASHI NAKAGYOKU
KYOTO, JAPAN



No. 9 March 1, 2008

ガバナー月信 第9信 (平成20年3月1日)

第2650地区 ロータリークラブ

国際ロータリー 第2650地区ガバナー

会長・幹事・みなさまへ

橋本長平

●識字率向上月間の意味するもの●

識字率向上は、1986年以来国際ロータリーの強調事項の一つとなっています。勿論本年度もそうであり、来年度も強調事項の一つとして取り上げることが今年の1月に開かれました国際協議会で発表されました。

識字能力とは何かをここで厳密に議論したところで何の役にも立たないと思いますが、簡単に言えば日本では昔から習慣づけさせられてきた読み、書き、算盤(計算)能力のことです。これからは、IT全盛の時代に突入していくと思いますので、IT能力もこれに含まれてくるものと思います。

識字率向上運動は、上記の通り長い歴史的経過を持ってまいりましたが、当初はなかなか思うようにその運動の成果が上がらなかった為か、1997年の国際ロータリー理事会で毎年7月を識字率向上月間と定め、更に最近になって識字率向上月間を毎年3月に指定替え致しました。

現在、世界で、10億人以上もの人々が非識字者であり、しかもその3分の2が女性だと言われております。非識字者にも2通りのタイプの方々がいっぱいいます。一方は、例えば貧困のため等の理由によって、教育を受けることが出来ない、或いは出来なかった人達であります。もう一方は宗教上あるいは世俗の理由により、教育を受けることを禁じられている或いは禁じ

られてきた人達であります。こちらは女性が圧倒的であります。あとに指摘したタイプの人達にどのように識字教育を普及させるかは、なお一層難しい課題に立ち塞がれます。しかし、いずれに致しましても、Free from Literacyは、Free from Job, Free from Moneyを意味します。非識字ゆえに仕事にもありつけず、それゆえに金銭を得ることも出来ない状態が現出します。非識字の方に人口爆発を防いだり、あるいは感染症を防いだりするための用具を配布しても、その説明書が読めないために何の用をも為さなくなるという悲劇も現実起こっております。

日本人の間では、さきにも記したように昔から読み、書き、算盤が習慣づけられてきたために幸いにも非識字の問題は、これまで大きな悲劇を生んだということはありませんでした。それゆえなのか、これまでのところ日本人は識字率向上と言っても対岸の火事くらいの問題意識しか持っていなかったように思います。しかし日本で、大きな問題にならないからといって、我々日本人ロータリアンは、この問題を放置しておいて良いのでしょうか。私達は、ロータリーに所属しているがゆえに、識字率向上という大きなテーマにぶつかったのであります。こういう大きなテーマを投げかけてくれたロータリーに私達は感謝をしなくてはならないと思います。そしてその前に日本を非識字化して

くれた日本人の先人あるいは祖先に私達は大いに感謝すべきだと思います。その感謝の念を常に心にとめておくことによって自然と湧き出してくる喜びを他の非識字者の方々にもおもしろいやりをもって分かち合おうではありませんか。

幸いなことに当2650地区では、今迄に発展途上国を訪ね、学校建設をしたり、図書を寄贈したりとそれなりの活動をしてまいりました。これらの事業により、多くの方々为非識字から免れることとなったと思います。識字率向上運動の良いところは、家族、例えば母親が識字者になると、その子どもも自動的にというか、家族内コミュニケーションによって、識字者となるという利点があるところでもあります。今迄の2650地区の皆様方によって建てられた学校へ通うことが可能となった子供たちも今では既に成人し、母親になって子供を育てている方も多くいるのではないかと思います。私達は、その子供達に新しく識字教育をしなくて済んでいるのであります。一人の識字者を生むことによって、次の世代が自動的に識字者として成長してくれるそれは何と創造的な夢でありましょうか。どうかこの夢を膨らませていただき、次の一步をまた踏み出して下さいますようお願い申し上げます。

ここに、私自身が最近経験した、二点をつけ加えておきましょう。

- 1、識字率向上運動の一環として、私在家内とサンディエゴ国際協議会を訪れた際、配偶者プログラムとして識字率向上の為の活動が実施されました。家内は、この活動に加わるため日本から日本語の子供用の本を用意していきました。
- 2、今、日本には、数多くの外国人労働者が働いています。残念ながら、外国人労働者の子供達には、日本の義務教育の機会さえ与えられていないのが現状です。当地区内でも、そのような外国人労働者及び子供を抱えた地域が少なくありません。そうした子供達にも是非とも識字教育をお願いしたいと思いません。—地球市民たるロータリアンとして。

世界ローターアクト週間

ローターアクトという名称の由来が、Rotary Actionであるということは、あまり知られていないようです。世界で初めて誕生したローターアクトクラブは、米国ノースカロライナ州のノースシャーロット RC の提唱によって、1968年3月13日に創立されたノースシャーロットローターアクトクラブであります。日本では、川越ローターアクトクラブが、川越 RC の提唱によって、1968年6月11日に創立されたのを嚆矢とします。RI 理事会は、1993年にローターアクト創設25周年を

記念して、世界で初めて誕生したローターアクトクラブの創立記念日である3月13日を含む日曜日から土曜日の間を世界ローターアクト週間に指定いたしました。因みに今年度の世界ローターアクト週間は、3月9日から15日までであります。

ローターアクトの目的は、個々の能力の開発にあたって、役立つ知識や技能を高め、それぞれの地域社会のニーズと取り組み、親睦と奉仕活動を通じて全世界の人々の間により良い信頼関係を推進するための機会を提供することであるとされており、ローターアクトの標語として、「奉仕を通じての親睦」の言葉が採択されております。

ところで当地区のローターアクト数は、約350名であり、会員が減少傾向になっております。一方地区ローターアクト委員会への年度予算額は、地区資金から480万円、その他クラブの負担金等々を併せると相当な金額に昇っています。しかしながら、各ロータリークラブの会員のローターアクトクラブに対する認識は決して高いものとは評価できない状況が続いており、ましてや、これがローターアクトクラブを提唱していないロータリークラブの会員の場合には、益々その傾向が高まっているというのが現状ではないでしょうか。こうした状況が続く限り、我が地区でのローターアクトクラブの活性化はなかなか難しいものと言わざるを得ません。ロータリークラブ会員が、ローターアクトクラブに対し、正しい認識を持たなければ、ローターアクトクラブのジリ貧状況は益々進んでいくものと思われます。RI では、ローターアクト会員をロータリー家族と位置づけており、ローターアクトを将来のロータリアンに育て上げることを目標（強調）にしています。ローターアクトは、ロータリーへの登竜門ですと言われた RI 会長もいます。我が地区も、そのような立場に立つならば、2650地区のロータリアンもローターアクトは新世代育成という理念と実践の場であることを自覚し、その責任を果たさなければならぬと思います。このように考えますと、ローターアクトがその名称の由来である Rotary Action にピッタリとフィットするように思います。

地区大会のRI会長代理

既にお知らせ致しましたように、今年度地区大会のRI 会長代理は、次年度 RI 会長である李東建氏に決定いたしております。次年度 RI 会長が会長代理として来られるということは非常に珍しく、次年度への激励の意味も含めて、出来るだけ多くの会員の皆様のご参加ご登録をお願いしたいと思います。

地区大会

ロータリーの心を求めて

4月12日(土) 13日(日) 於：国立京都国際会館

地区大会は、会期を最小限2日、最大限3日にすること、RI 会長代理の講演は少なくとも2回計画することなどの要件があり、そのうえ、バランスよい番組を組み、ロータリーを主題とした議事が70%を下回らないよう推奨するなどいろいろな要請されています。

つくる友の輪 一つ心に

福井	齊藤 英夫	外科医
福井	奥村 隆司	旅館
福井	朝倉 邦真	造園工事
福井	戸川 智貴	一般乗用旅客運送
福井	中広 久	不動産業
福井東	町田 充幸	損害保険
福井北	森 雅信	菓子製造
三国	藤井 俊哉	外科医
大野	池尾 宗紀	建設業
彦根	井の下 精作	貨物運送
水口	小山 剛	環境サービス業
水口	杉本 正和	建設
水口	森島 敏明	社会保険労務士
守山	木村 正治	事務機販売
長浜東	田村 雅俊	歯科技工士
大津	北村 直樹	酒類製造
栗東	中野 謙一	旅行業
八日市南	山田 和明	料理仕出し
八日市南	中村 隆市郎	建築、測量設計
八日市南	荻田 富和	税理士
橿原	花城 哲也	証券業
綾部	元古 保弘	日本料理

綾部	人見 保幸	精密機械製造
福知山	正木 義昭	仏教
京都	西川 厚雄	ホテル
京都東	植松 雅房	華道
京都東	家村 浩和	耐震工学
京都桂川	奥田 英彰	マンション管理業
京都北	水島 光男	レース販売
京都モーニング	山本 讓司	旅行業
京都モーニング	岡村 健二	土木設計
京都中	細井 太造	不動産賃貸
京都中	藤岡 隆司	保育園
京都西	松山 茂	司法書士
京都西	中西 久芳	コンクリート製品製造
京都西	佐川 公也	幼稚園
京都西山	依田 純三	内科医
京都乙訓	前田 尚之	建設資材販売
京都乙訓	山下 吉昭	不動産売買
京都洛西	保木 一範	経営コンサルティング
京都洛西	丸尾 延子	税理士事務所 所長
京都山科	平野 俊雄	スポーツ用品販売
舞鶴	真下 邦彦	酒類販売

1/1~1/31 新入会員名簿

幹事報告

- 月間行事予定
2007学年度米山奨学生終了式及び歓送会
3月8日(土) 終了式 10:30~
歓送会 12:00~
於：メルパルク京都
- 2008~2009年度月間行事予定
地区協議会・第1回合同地区委員会
3月29日(土) 13:30~17:30
於：国立京都国際会館

HP紹介

是非御覧下さい

地区ホームページはロータリー情報の宝庫!

橋本ガバナー年度のホームページが公開され、第2650地区の情報をどんどん更新し、発信しています。ロータリーに関する情報が満載です。

委員会の報告や各クラブの奉仕活動、また掲載を希望される記事や写真がございましたら、どしどし投稿して下さい。このホームページを活用いただき、ロータリアンのさらなる友情を深めていただくことが、私どもの何よりの願いです。皆様のご利用を、心よりお願いいたします。

<http://www.rid2650.gr.jp/>

2008年1月会員数の増減および出席率表

■福井県（19クラブ）

クラブ名	7月末 会員数	入 会	退 会	1月末 会員数	入会 年間累計	退会 年間累計	例会数	出席率
福井	122	5	0	127	9	4	4	88.57
福井あじさい	50	0	0	47	3	6	3	87.30
福井東	39	1	0	41	5	3	3	77.23
福井北	116	1	0	120	9	5	4	86.75
福井南	66	0	0	66	2	1	4	71.14
福井西	44	0	0	43	2	2	3	80.53
福井フェニックス	50	0	0	50	2	1	4	72.50
福井水仙	26	0	1	24	0	2	4	85.58
勝山	27	0	0	26	2	3	4	86.54
丸岡	36	0	0	34	1	2	4	87.32
三国	41	1	0	43	3	0	3	79.17
大野	29	1	0	28	1	3	3	89.77
鯖江	52	0	0	53	2	1	4	88.08
鯖江北	30	0	1	27	0	3	4	89.94
武生	65	0	0	67	2	2	4	79.53
武生府中	43	0	0	40	0	4	4	96.25
敦賀	47	0	0	49	4	2	4	90.27
敦賀西	26	0	0	26	5	3	3	79.49
若狭	37	0	0	35	2	2	3	99.05
小 計	946	9	2	946	54	49	平均 3.6	平均 85.00

■滋賀県（22クラブ）

クラブ名	7月末 会員数	入 会	退 会	1月末 会員数	入会 年間累計	退会 年間累計	例会数	出席率
びわ湖八幡	48	0	1	50	4	4	4	81.72
五箇荘能登川	19	0	0	18	0	1	3	81.62
彦根	72	1	0	74	5	2	4	89.78
彦根南	64	0	1	64	1	1	4	94.35
湖南	37	0	0	37	1	0	4	95.59
草津	44	0	0	45	3	0	4	86.72
水口	45	3	0	48	4	1	4	96.08
守山	49	1	0	49	2	1	3	91.84
長浜	60	0	0	60	0	0	3	94.61
長浜東	67	1	1	66	2	3	3	94.27
大津	114	1	0	119	6	1	4	100.00
大津中央	34	0	0	35	3	1	3	87.62
大津東	26	0	0	26	0	2	3	73.11
大津唐橋	25	0	0	24	0	0	3	85.31
大津西	28	0	0	28	0	0	4	97.82
近江八幡	68	0	0	70	4	0	4	93.09
栗東	37	1	1	36	4	5	4	83.50
滋賀湖北	27	0	0	23	0	4	4	91.30
高島	39	0	1	38	0	1	4	94.83
野洲	38	0	0	38	1	0	4	89.89
東近江	52	0	0	52	2	2	3	86.29
八日市南	54	3	0	55	4	5	4	93.02
小 計	1047	11	5	1055	46	34	平均 3.6	平均 90.11

■奈良県（13クラブ）

クラブ名	7月末 会員数	入 会	退 会	1月末 会員数	入会 年間累計	退会 年間累計	例会数	出席率
五條	42	0	0	40	1	3	4	91.18
平城京	40	0	1	38	3	4	3	93.42
生駒	39	0	0	38	4	3	4	83.63
橿原	76	1	1	74	2	3	3	78.65
あすか	54	0	0	55	1	0	4	94.07
奈良	137	0	1	142	7	3	3	94.07
奈良東	46	0	0	46	3	2	4	98.32
奈良西	42	0	1	47	6	1	4	71.21
奈良大宮	68	0	0	70	3	1	4	90.26
王寺	29	0	0	28	1	2	3	92.40
桜井	48	0	0	49	1	0	4	93.95
大和郡山	51	0	0	51	2	0	3	92.93
大和高田	99	0	0	99	1	1	4	93.58
小 計	771	1	4	777	35	23	平均 3.6	平均 89.82

■京都府（42クラブ）

クラブ名	7月末 会員数	入 会	退 会	1月末 会員数	入会 年間累計	退会 年間累計	例会数	出席率
綾部	43	2	0	44	4	2	3	88.26
福知山	61	1	0	63	2	0	4	92.82
福知山西南	54	0	0	49	0	5	4	88.83
亀岡	40	0	0	41	2	1	4	100.00
亀岡中央	20	0	0	19	0	1	3	96.30
京都	198	1	0	205	14	5	4	97.48
京都伏見	87	0	0	91	4	1	3	86.82
京都平安	35	0	0	34	0	1	3	71.72
京都東	102	2	0	107	7	1	3	97.14
京都北東	35	0	0	34	0	1	3	92.64
京都城陽	29	0	0	30	1	0	3	93.18
京都桂川	36	1	0	37	2	0	4	84.27
京都北	66	1	0	68	3	2	4	97.17
京都南	216	0	0	220	6	1	4	92.91
京都モーニング	52	2	1	53	4	2	4	87.91
京都洛野	68	0	1	65	2	3	3	100.00
京都中	41	2	0	41	3	2	3	100.00
京都西	104	3	0	107	6	1	3	98.96
京都西山	22	1	0	23	1	0	4	86.05
京都乙訓	39	2	1	38	2	4	3	91.32
京都洛中	83	0	0	81	3	5	4	98.72
京都洛北	68	0	0	72	6	1	5	95.90
京都洛南	40	0	0	40	1	0	4	97.37
京都洛西	49	2	0	51	3	0	3	95.74
京都洛東	40	0	0	40	0	0	4	90.00
京都さくら	27	0	1	28	2	1	4	83.46
京都嵯峨野	25	0	0	25	0	0	4	80.43
京都西北	50	0	0	50	2	1	4	92.88
京都西南	61	0	0	60	1	2	4	95.15
京都紫竹	47	0	0	47	0	0	3	79.83
京都朱雀	43	0	0	43	1	1	4	86.93
京都田辺	24	0	1	23	0	1	4	84.38
京都山科	84	1	0	82	5	3	4	97.83
京都山城	41	0	0	42	1	0	4	98.77
京都八幡	32	0	1	30	1	3	4	92.18
舞鶴	31	1	0	31	2	2	4	96.13
舞鶴東	56	0	0	53	0	3	4	90.32
峰山	39	0	0	39	0	0	4	84.06
宮津	52	0	1	49	1	4	4	89.74
園部	32	0	1	30	0	2	4	99.11
宇治	43	0	1	38	0	5	4	93.29
宇治鳳凰	45	0	0	45	3	2	4	93.75
小 計	2360	22	9	2368	95	69	平均 3.7	平均 91.90

■合計（96クラブ）

クラブ名	7月末 会員数	入 会	退 会	1月末 会員数	入会 年間累計	退会 年間累計	例会数	出席率
合 計	5,124	43	20	5,146	230	175	平均 3.7	平均 89.84

■表作成にあたって

- ・会員数に名誉会員は含まれておりません。
- ・入退会者数、1月会員数および入退会者累計数は、1月末現在です。

弔慰

クラブ名	氏 名
彦 根 南RC	辰巳 又男 様
橿 原RC	南 溢 様
宮 津RC	中村 憲司 様

国際ロータリー第2650地区

2007～2008年度

ガバナー事務所

〒604-8005 京都市中京区姉小路通河原町東入ル ABSビル301号

TEL 075-255-2650 FAX 075-255-2652